

「保険でよい良い歯科医療」 請願署名にご協力を!

協会では「保険でより良い歯科医療を」兵庫連絡会とともに、「いつでも、どこでも、だれもが、お金の心配をせず『保険で良い歯科医療』の実現を求める」国会請願署名に取り組んでいます。年内に2万筆を目標に集めておりますので、全会員の皆さまにぜひご協力をお願い申し上げます。今回の請願項目は、(1)「お金の心配をせず、歯科医療を受けられるよう、窓口負担を引き下げてください」、(2)「保険のきく歯科治療を増やしてください」とともに、(3)「国の歯科医療にかかわる予算を増やしてください」の三つを掲げて、患者・国民とともに歯科医療の充実を求めています。

署名とリーフレットは『月刊保団連』8月号に同封しております。まずはご家族・スタッフの皆さまのご署名から返送ください。そして、窓口にお越しの患者さんにもすすめてください。署名付きのポケットティッシュもございますので、ご希望の方は事務局までご一報ください。

署名・リーフレットの追加注文、ポケットティッシュのご注文は、電話 078-393-1809、FAX078-393-1802 歯科部会まで

いつでも、どこでも、だれもが、お金の心配をせず
「保険で良い歯科医療」の実現を求める請願署名

衆議院議長・参議院議長 殿

お口の健康は、全身の健康に深く関係しています。歯を治療することによって糖尿病、腎臓病、心臓病、さらには認知症などの改善につながっていることも明らかになってきています。しかし、日本社会では治療と予防が偏り、口腔の健康格差も生じています。さらに、子どもから高齢者まで口腔の健康悪化と治療と負担を深刻な事態に陥らせています。

保険の調査では、経済的理由で歯科治療を中断する人を6割の医療機関で経験しています。大抵や宮城、長野、三重、岩手の調査では、学校歯科健診で受診とされた児童生徒のうち、小学校で約半数、中学校で3割程度しか受診していません。また、厚労省の調査でも受診者の約9割が何らかの歯科治療が必要にもかかわらず、実際に歯科受診をしたのは3割弱という調査結果もあります。

新しい労働環境や格差と負担の広がりは、経済的理由での未受診、歯科治療の早期受診や治療の継続を妨げています。加えて歯科では日頃のケアが十分に行われていない治療の機会がなくなり、お金の面での不安がさらに受診を妨げる要因になっています。歯や歯ぐきを提供する歯科技工士にも

は、患者、国民、歯科医療従事者の共通の

割合を引き下げてください。

**保険で良い
歯科医療の実現を**

署名にご協力
ください。

私たちが、いつでも、どこでも、だれもがお金の心配をせず、保険で良い歯科医療を受けられるよう、3つの項目で署名をよびかけています。皆さんのご協力をよろしくお願いいたします。

- お金の心配をせず、歯科医療を受けられるよう、窓口負担割合を引き下げてください。
- 保険のきく歯科治療を増やしてください。
- 国の歯科医療にかかわる予算を増やしてください。

※この個人情報は選挙公報には掲載されません。

兵庫県保険医協会 姫路・西播支部ニュース

No.218 2015年11月25日発行



発行 兵庫県保険医協会姫路・西播支部 支部長 宗実琴子
連絡先 〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31 神戸フコク生命海岸通ビル5F
兵庫県保険医協会 TEL/078-393-1803 FAX/078-393-1802

第88回評議員会 支部からの発言

これからも会員のニーズに 応じた支部活動に



上・発言する宇野評議員
右・「構造改革」ではなく福祉の充実を訴える菊地先生



協会は11月15日に第88回評議員会を、協会会議室で開催した。特別講演として「新自由主義の自滅-安倍政権の経済政策をどうみるか-」をテーマに日本金融財政研究所所長の菊池英博氏が講演を行った。支部からの発言として宇野千里評議員が、9月26日に行われた支部総会の記念企画ドキュメンタリー映画「フード・インク」の上映会や幹事会内で行っている憲法学習会の報告を行った。(発言要旨は次ページ)

2面に続く

支部ニュースへぜひご投稿ください

日常診療のことや医科・歯科連携などテーマは自由です。

ぜひご投稿ください。よろしく申し上げます。

お問い合わせは、TEL 078-393-1803 FAX: 078-393-1802

E-mail: arimoto@doc-net.or.jp

担当事務局; 有本まで

1面の続き

発言要旨

9月に行った第30回支部総会では記念企画として映画「フード・インク」の上映会を行い、通常の2倍の速さで成長するよう品種改良された鶏が流通するアメリカの例を通して、TPPで日本の食卓はどうなるのか、など「食の安全」について考えた。

8月に医療安全管理研修会を、看護協会西播支部と共催し医師・看護師・スタッフの126人の参加を得た。

第3回医院経営研究会は「良いスタッフを採用する面接～経営を支える仲間として～」をテーマに行い25人の参加を得た。今回は面接のポイントについて具体的に講演いただく予定。

幹事会内で憲法全文を一条ずつ読む学習会を継続している。自民党の改憲草案ではどのように書き換えられているのかや、安保法制など情勢と合わせながら学んでいる。

また、姫路・西播支部も参加する西播社会保障推進協議会では、毎年自治体キャラバンとして5市6町の担当者などと懇談を行い、社会保障改善を訴える運動に取り組んでいる。今年も11月6日から、11市町すべての自治体との懇談を行い、国保料の引き下げや、「第6期介護保険事業計画」により各自治体で提供される介護サービスの保証などを訴えている。

今後も、臨床研究会、そば打ち企画、バスツアーや映画上映会などの文化企画、職員接遇研修会などのスタッフ向け企画など会員のニーズに応じた活動を行っていく。

ご家族・お知り合いの先生を ご紹介ください

協会では、現在「組織強化月間」に取り組んでいます。

11月は、多くの新規開業、病院勤務の先生方に保険請求対策、審査指導対策、新規開業医研究会、臨床研究会、歯科定例研究会等の参加、3大共済制度(グループ保険・保険医年金・休業保障制度)への加入などで、ご入会をいただいているところです。

会員の先生はもちろん非会員の先生にも「頼りになり役に立つ協会」を知っていただき、身近な存在と感じていただければと考えております。

つきましては、ご家族やお知り合いの先生で、まだ協会未入会の先生がいらっしゃいましたら、紹介状などのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

お問い合わせ等は、組織部(Tel 078-393-1817)まで



医院経営研究会

「開かれた質問」で見いだす優れたスタッフ

姫路・西播支部は9月27日に医院経営研究会を姫路市内で開催し、医師・歯科医師ら25人が参加した。「良いスタッフを採用する面接～経営を支える仲間として～」をテーマに社会保険労務士・産業カウンセラーの嶺山洋子先生が講師を務めた。もと皮膚科クリニック(加古川市)の佐々木一先生の感想を紹介する。

爽やかな秋晴れの日、医院経営研究会に参加させていただきました。講師の嶺山洋子先生は、自らも社会保険労務士としてオフィスを経営されており、事業主としてスタッフを採用された時のご自身の経験もお話の中に盛り込まれながら、時にはユーモアを交えつつ、良いスタッフを得るために私たちが日頃から心がけておかねばならないポイントを私たちに教えてくださいました。

スタッフ募集の際に労働条件を明示すること、給与・賞与・退職金を明記することが人材獲得のために大切であるということや、広告業者任せではなく、自分で職業安定所の窓口相談に行き、自分たちの事業所を職業安定所の人にもよく理解してもらい、人材獲得のために事業主が努力していることを知ってもらうことで、良い人材の紹介につながるというお話もうかがいました。

また、面接に際しては、職務経歴書を必ず提出してもらい、こちらからは求職者になるべく多くのことを具体的に語ってもらうような「開かれた質問」をする方法が良いということ、また「コンピテンシー」という「自分の能力を行動にうつせる力」を面接時に把握することが大切であることを教えてくださいました。

行動力に優れ、積極性や向上心を持ち、活気に満ちた明るい笑顔のスタッフを見いだすために、面接時に私たちが確認しておきたいポイントや、具体的な面接方法を知る良い機会となりました。

【加古川市 佐々木 一】

第277回支部幹事会より



10月29日(木)14時30分～ 於 じばさんびる

参加 2人

◆支部の今後の企画として医院経営研究会、成年後見制度学習会、バスツアー、そば打ち体験などについて議論された。

幹事会には、会員の先生はどなたでもご参加いただけます。ぜひご参加ください。お問い合わせは、Tel 078-393-1803 F A X : 078-393-1802 E-mail : arimoto@doc-net.or.jp 担当事務局 : 有本まで